

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	多機能型障害者就労支援事業所 わーくりんく宝石台	事業所番号	0912600137
住 所	栃木県塩谷郡高根沢町宝石台5-7-9 カネサビル宝石台2階	管理者名	佐藤 雅之
電話番号	028-666-7939	対象年度	令和5年度

## 地域連携活動の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>【実施日程】 令和5年4月1日~令和6年3月31日（実施237日）</p> <p>【施設外就労の概要】 遊技機の分解・分別</p> <p>【施設外就労延べ人数】 1962人</p> <p>&lt;目的&gt;</p> <p>障害者の保有する特性を事業所として見極め、適材適所を徹底的に追求し、活躍の場を与え、ハンディがあっても社会の役に立つという貢献感を得ることにこだわっている。</p> <p>結果、リサイクル事業で活躍し地域に貢献できると同時に、対象者の安定した収入の確保に繋がっている。</p> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>【得られた成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した収入</li> <li>・顧客満足を得ることによる働く喜びの理解</li> </ul> <p>【課題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最低賃金を維持できる仕事の確保と品質に多大なる労力を要する</li> <li>・福祉以外のスキル習得が指導員に求められている</li> </ul>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p> <p style="text-align: center;">遊技機の分解・分別</p> 
--	---

## 連携先の企業等の意見または評価

パチンコ・スロットなどの遊技機は遊技場における製品寿命が比較的短く、資源保護の観点から機器の分解及び資源としてのリサイクルが必要であるが、現在国内では採算の観点から東南アジア等海外に運搬され、場合によっては放置される実態があった。

当社では、就労意欲の高い障害を持つ方にご協力を頂き、国内で遊技機を分解することにより、液晶・ICチップ・金属・多種多様なプラスチック等を再生させることに尽力している。

わーくりんく宝石台をはじめとする福祉施設との協業により、障害者のみの力で一連のリサイクル作業を完結させることにチャレンジしており、そのサイクルが完成することに強い期待を持っている。

連携先企業名	株式会社国際資源リサイクルセンター 様	担当者名	代表取締役 千田谷 直光 様
--------	---------------------	------	-------------------